

用は、専門家の調査で約二千四百万円という。二年後の修復完成を目指しているというものの、これは高伝寺だけの宝ではなく、後世に残すべき宝ではないか。

この大涅槃像は大きすぎて一度も全体を掲げることがないため、願いはこれを掲げられる釈迦堂建設にもあるという。

「佐賀の春は高伝寺の梅から」という言葉があるくらい、高伝寺は梅の名所でも知られている。境内には七百本から八百本の梅の木があり、中には「霊徳寿梅」と名付けられた樹齢約四百年の佐賀市指定天然

記念物の梅まである。

そうそう、ここは似顔絵で活躍している針すなお氏の生家でもあるが、梅と釈迦堂御開扉の時期が過ぎると高伝寺は少し静かになり、ゆっくり味わえるチャンスだ。境内を駆け巡る風が過ぎ去った歴史の香りを運んでくれるはずである。

(文・川内朋子)



山門



高伝寺への行き方

- 電車の場合
JR 佐賀駅より市営バス平松循環線で20分
高伝寺下車徒歩1分
または佐賀駅よりタクシーで15分
- 飛行機の場合
佐賀空港より車で約30分
〒840-0027
佐賀県佐賀市本庄町大字本庄1112-1
電話 0952-23-6486

